

この2年間の地球は「過去1世紀で最大の寒冷化を示した」という衝撃の事実！

by リアルクリアマーケット紙

地球はこの2年間、過去1世紀で最も極端な寒冷化事象を経験した。しかし、このことを報じた大手メディアがあっただろうか？2016年2月—2018年2月の2年間で、世界の平均気温は0.56℃低下した。これは、それまで過去最大の平均気温の低下を見せた。

1982年—1984年の2年間の気温の低下0.47℃を上回る数字だ。このデータの数字はすべてNASAゴダード宇宙研究所によるGISS地球表面温度分析からのものである。2016年から2016年の「大寒冷化」は、2つの小さな寒冷化に主導された。ひとつは、2016年2月—6月と、もう一つは2017年2月—6月の期間だ。そして、仮に2018年2月から6月までも同様な事象が起きた場合、地球の平均気温は、1980年代より低くなる。

1880年代のミニ氷河期の終わり以来、地球は0.8℃ほど暖かくなっている。実はこの程度の気温上昇は、ローマ時代や中世の温暖化期などのような歴史的な温暖化に比べれば、それほど劇的な速度ではないことは指摘されている。それにもかかわらず、0.8度の気温上昇は、過去数十年間、地球温暖化として「恐ろしいことと」警告され続け、あたかも地球の歴史で最悪の出来事が起きているような喧伝され、私たちを心配させ続けてきた。実際、この2、3年くらいは「記録的な高温が観測される場所や地域が多くなっている」のも事実です。

ところがそれにも関わらず、「この2年間、地球の気温は劇的に下がったのです。」現在でも、毎月のように地球温暖化についての数値はメディアから発表され続けているが、寒冷化についての異常値は出されることがない。しかし、逆の寒冷化についての記録は取り上げられない。

最近の科学論文で、二人の科学者たちが実際の気温の推移のデータと、気候変動のために使われているコンピュータモデルの数値とを比較した。そして、発見されたことは、地球は、気候変動モデルが言うようにCO₂の増加に対して敏感ではないことを示したということだった。この結果、仮に今後、大気中にGO₂を排出し続けたとしても、地球はそれにより温暖化することはないだろうと著者たちは述べている。そして、この研究による温暖化のシナリオ、「気候変動に関する国連政府間パネルのコンピュータモデルを大幅に下回るレベルとなる可能性を示した。」

過去2年の地球が「過去最大級の気温の低下を見せた」ということは「ミニ氷河期は2015年にすでに始まっている」という主張もあながち間違っていないかもしれない。そして徐々に、その「影響」も見え始めてくるのかもしれない。

太陽黒点数の推移 (2000年 - 2018年)

